

おうちのかた向け



『ココロコロコロ』

新井 洋行//作 北村 みなみ//絵 岩崎書店

喜び、悲しみ、不安、いらいら…。子どもも大人も、誰だって心はコロコロ変わりやすいもの。時に、その変化に自分自身が疲れてしまうことも。でも、心はいつだって自由でいい。コロコロ変わる心も、その心を抱える自分も、全部大切に抱きしめていいのだとこの絵本が教えてくれます。



『つきのこうえん』

竹下 文子//ぶん 島野 隼//え
パイインターナショナル

朝、目覚めた子どもが「こんな夢をみたよ。」と話してくれる物語は、いつもどこか不思議で心惹かれるものです。でもそれは本当に夢の中の話なのでしょうか。もしかしたら、子どもたちは知らない間に、不思議な世界へ行っていたのかも…。私たち大人の想像もかきたてる、夢と現実のはざまにある物語。

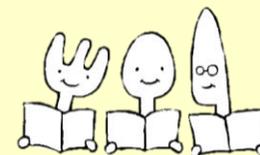


『ながみちくんがわからない』

数井 美治//作 奥野 哉子//絵 B L 出版

ながみちくんはなにを考えているか分からない男子。分からないのだけれど、気になってしまう「わたし」は、彼を研究することにして…。描かれているのは、ある日の帰り道。ありふれた光景なのに、ながみちくと「わたし」の時間はなぜか特別にも感じられます。ふたりの上で茜色に染まる空も印象的です。

2024 AUTUMN



おすすめの 絵本

燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内します。



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧 Twitter)



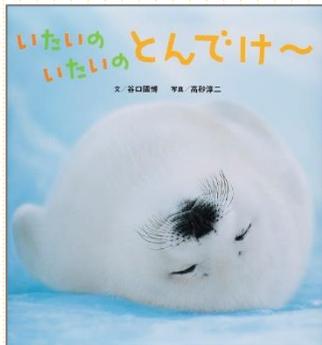
電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問い合わせ 燕市立図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

0～2 さい向け



『いたいのいたいのとんでけ〜』

谷口 國博//文 高砂 淳二//写真 山崎 彬//英文
世界文化社

見たことのないような意外な姿や、思わず笑ってしまうような表情など、自然体の動物たちに心をつかまれる写真絵本。そんな動物たちと一緒に「いたいのいたいのとんでけ〜」や「もういいかい?」してみよう! 普段出会うことのないさまざまな動物と、美しい写真で出会えるのも魅力です。



『おかえり どうぶつはうす』

たかい ゆきえ//文・絵 Flotation//翻訳
I biza

最初に帰ってきたのはキリンさん。次に帰ってきたカメさんは、キリンさんのしっぽにぴたっ。その次に帰ってきたおさかなさんは、キリンさんとカメさんの上にぴたっ。そうやって、帰ってきた動物たちがぴったり重なり合い、できあがる「どうぶつはうす」。あたたかく、やわらかな魅力に包まれています。

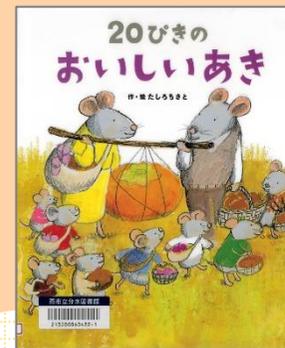


『こうさぎぼーん』

麦田 あつこ//文 森山 標子//絵
ブロンズ新社

ふわふわの体にくりくりのおめめ。ふっくらかわいいこうさぎを観察してみよう。走って、ごろんして、お母さんに追いかけて、つかまって…。その様子はまるで小さな子どものようです。「すっとこたっとこ」や「ぴょこん」など、こうさぎの様子を表す心地よい言葉の数々が、優しく赤ちゃんへ届きます。

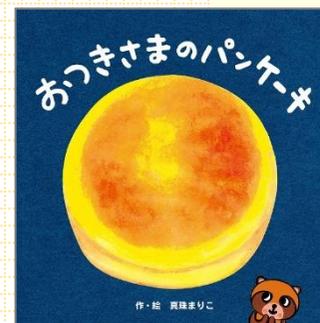
3～5 さい向け



『20びきのおいしいあき』

たしろ ちさと//作・絵
ひかりのくに

人間の家の床下に住む、20びきのねずみの家族。秋のおいしいものをたっぷりと、そろって夢中で集めます。食べているときはもちろんのこと、何をつくろうか考えている時間や、料理をしている時間も楽しくて幸せですね。20びきで秋のごちそうを囲んでいる場面を見ると、なんだかお腹がすいてきます。



『おつきさまのパンケーキ』

真珠 まりこ//作・絵
ほるぷ出版

まんまるおつきさまを眺めていたら、おつきさまがとろとろとけて、空から降ってきた! 急いでフライパンを準備しなくちゃ! おつきさまで作る、おつきさまのようにまんまるなパンケーキ、一体どんな味がするのでしょうか。空に浮かぶ月を見つけるたび、パンケーキを思い出してしまいそうです。



『あんまりすてきだったから』

くどう れいん//さく みやざき ひろかず//え
ほるぷ出版

歌手のうたごえがあんまりすてきだったから、こんちゃんが心を込めて大切に書いた手紙。その心はみんなに広がって、私たちにもあたたかく響きます。心を込めた言葉は、いつか自分にも幸せを運んでくれるのかもしれない。あんまりすてきだったから、ぜひみなさんにも手にとっていただきたい絵本です。